

家庭で出来る節電・省エネ実施の具体的事例

D：かなりお金をかけて出来る対策

D-1 省エネ（節電）タイプの家電製品への買い替えによる節電

古い家庭電化製品を最新の省エネ型の家電製品に買い替える事は節電に繋がります。買い替える時は省エネラベルに注目してください。

エアコン、電気冷蔵庫、テレビ、電気便座については統一省エネラベルで表示されています。星印の多いものが省エネ型製品ですが、家族構成に合わせて小型のものを選定すればより省エネ（節電）に繋がります。ラベルの見方については、お店の方に相談してください。

会員の中には、12年前の冷蔵庫を最新の省エネタイプに買い替えたところ電気代が年間約16,000円も節約出来たとの連絡を頂きました。



D-2 省エネ（節電）タイプの家電製品への買い替えによる節電

エアコン、蛍光灯器具、テレビ、パソコン、電気冷蔵庫、ストーブ、ガス調理機器、ガス温水器、石油温水機器、電気便座、ジャー炊飯器電子レンジ、DVDレコーダーについては省エネラベリング制度により、右の表示がされています。

省エネ法で定めて目標基準（トップランナー基準）を達成している機器が緑の表示で、達成率が100%以上です。達成率の大きい機器が省エネ性能に優れていると言えます。



D-3 省エネナビを使用することによる電気使用量の管理

(財)省エネルギーセンターで進めている省エネナビを使用して家の電気の使用量を時間ごとに見える化し節電をします。

常時電力消費量を表示するので、家族が見える場所に設置し、実績と目標値を設定し、実績が目標値をオーバーすれば赤色ランプに変わります。生活スタイル、電気の消費量が見えてきて、節電意識が高まります。

(財)省エネルギーセンターのHPは下記の通りです。

<http://www.eccj.or.jp/navi/index.html>



D-4	家庭用太陽光パネルの設置による電力供給
	<p>太陽光パネルは節電対策ではありませんが、購入電力を抑え、余剰電力を系統連携により東京電力に供給できるので、電力不足を補うことになります。会員の方で 3kW の太陽光パネルを屋根に載せています。設置 10 年間の平均で年間約 3350 kWh の発電をしています。そのうちの約 1/5 を自家消費し、4/5 を売電しています。太陽光パネルの発電量は設置場所、向き、日射条件により異なるので、このデータが直接参考になるかどうかはわかりません。</p>
D-5	通風を改良した雨戸（エコ雨戸）による省エネ
	<p>夏の日差しが強い時には室内に太陽光を入れると室内の温度が上昇します。かといって雨戸を閉めると暑苦しい。開閉機構が付いた雨戸があり、風通しを良くしながら光を遮蔽出来ます。エコ雨戸について下記 HP を参照してください。 http://www.34al.com/shading/ecoamado/</p>
D-6	ガラス窓の 2 重ガラスへの入れ替え
	<p>1 枚ガラスの窓を 2 重ガラスの窓へ入れ替えることによる放熱の防止による節電。大がかりな工事を必要とせず、ガラス戸のみを入れ替えることも出来るようです。ハウスメーカーに相談されたらと思います。</p>

